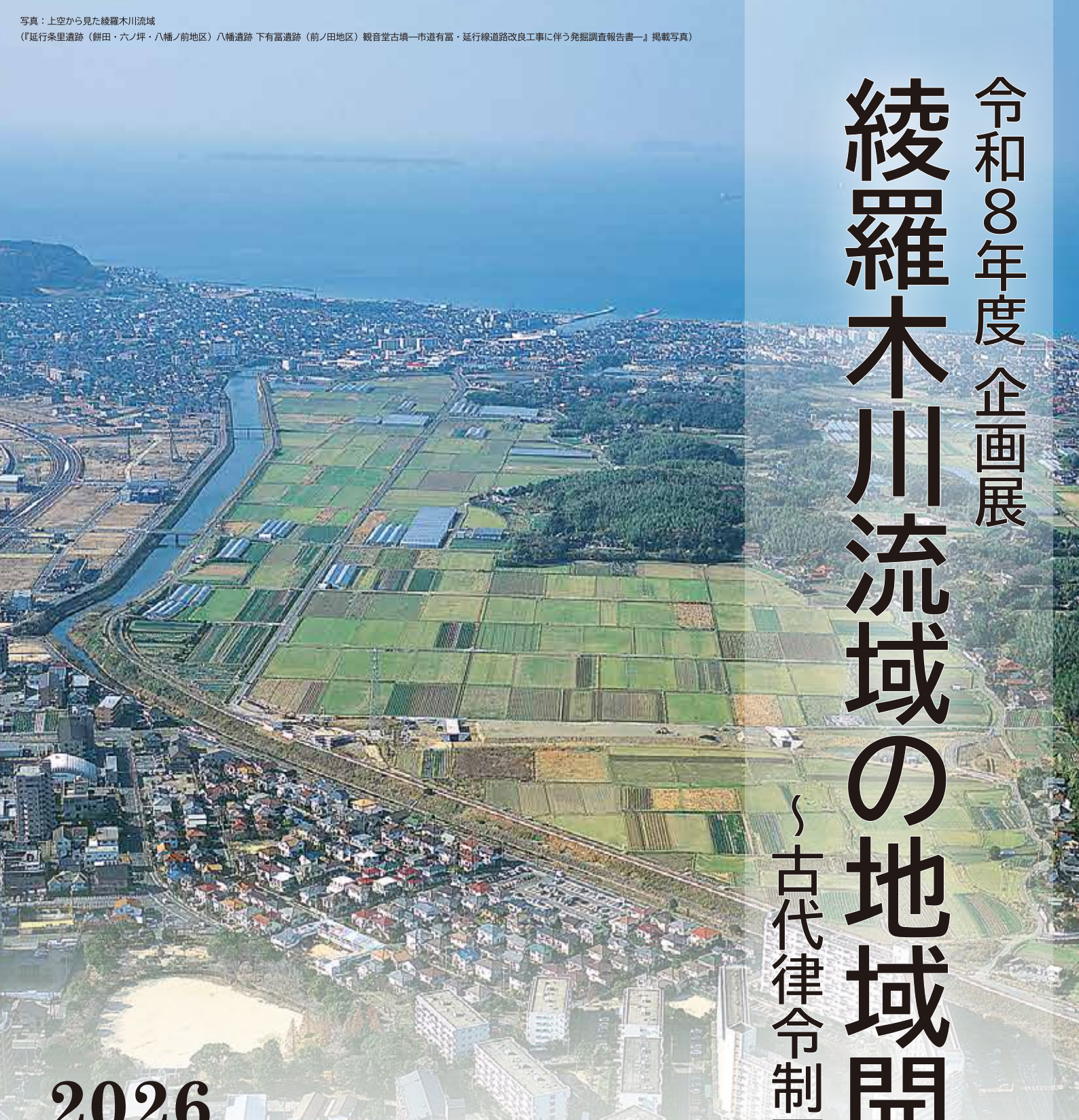
写真：上空から見た綾羅木川流域
（『延行条里遺跡（餅田・六ノ坪・八幡ノ前地区）八幡遺跡 下有冨遺跡（前ノ田地区）観音堂古墳―市道有冨・延行線道路改良工事に伴う発掘調査報告書―』掲載写真）



令和8年度 企画展

綾羅木川流域の地域開発史

～古代律令制下の下関～

2026.

9.12 sat ▶ 11.29 sun

| 開館時間 | 9:30 - 17:00（最終入館 16:30）

| 休 館 日 | 毎週月曜日
※ただし、9月21日（月・祝）は開館、9月24日（木）は休館します

| 観 覧 料 | 無料

| 駐 車 場 | あり（無料）

下関市立考古博物館
〒751-0866 下関市大字綾羅木字岡454番地 | TEL | 083-254-3061 | FAX | 083-254-3062 | URL | https://www.shimo-kouko.jp/

綾羅木川流域の地域開発史～古代律令制下の下関～

■ 本展について

下関市域の南部に位置し、響灘にそそぐ綾羅木川流域は市内で最もひらけた肥沃な平野が広がり、その恩恵により古くから人々の生活が営まれてきました。

人々は河川の作用により変化する流域の自然地形を巧みに利用し、加工することで経済的基盤となる耕地を獲得し、維持してきたことが近年の発掘調査により明らかにされています。

とりわけ古代の律令制の成立以降、広域の設計思想に基づく土地区画の施行により水田区画や構造が整備され、その一部は現在の土地景観にも影響を与えたと理解されるようになりました。

本展では、綾羅木川流域の地域開発史の中から、現在の土地景観のルーツともいうべき奈良～平安時代を中心に読み解いていきます。

綾羅木川流域地図

井戸状遺構出土品
延行条里遺跡（八幡ノ前地区）

第１章　律令制の成立と長門国

古代における綾羅木川流域の土地景観を大きく変える契機となった律令制の浸透を示す、長門国府の設置について触れていきます。

第２章　律令制下の綾羅木川流域

奈良時代～平安時代の集落遺跡を中心にとりあげ、
律令制下における綾羅木川流域の様相を読み解いていきます。

第３章　延行条里遺跡からみた綾羅木川流域の土地開発

綾羅木川流域に導入された条里型地割の出現と展開について紹介し、
現在の土地景観の成り立ちの一端を示していきます。

銅杓
要須遺跡

■ 関連イベント

≫展示解説会

｜開催日｜9/12・19、10/3・17・31、11/14・28（いずれも土曜日）

｜時　間｜10:30 ～（60 分程度）

｜申込・参加費｜不要　　｜定　員｜10 名程度（先着順）

※聴講希望の方は開始時間までに特別企画展示室（地下１階）へお集まりください

過去の展示解説会の様子

下関市立考古博物館

〒751-0866 山口県下関市大字綾羅木字岡 454 番地

｜TEL｜083-254-3061　｜FAX｜083-254-3062　｜URL｜https://www.shimo-kouko.jp/

｜開館時間｜9:30 ～ 17:00（最終入館 16:30）　｜休館日｜毎週月曜日　※ただし、９月 21 日（月･祝）は開館、９月 24 日（木）は休館します

｜観覧料｜無料　｜駐車場｜あり（無料）

｜access｜

＊車の場合……県道 248 号線沿い、中国自動車道下関 I.C から約 20 分

＊電車の場合……JR 山陰本線　梶栗郷台地駅から徒歩約５分　　＊バスの場合……サンデン交通「郷台地入口」バス停から徒歩約５分

homepage

SNS